

岡遺跡保存目的調査について

1. 対象遺跡の概要と事業のねらい

○対象遺跡の概要

岡遺跡は、昭和61～62年度の調査により、奈良時代を中心とした時期の廂付建物、長舎、倉庫群などの大型掘立柱建物が企画的に配置されている状況が明らかになっており、古代近江国栗太郡衙と推定される全国的にみても貴重な遺跡です。当時の調査は保存目的で実施され、遺構検出および中世以降の遺構掘削にとどめられ、盛土保存され農地となっています。

○事業のねらい（最終目標）

岡遺跡の確実な保護を図り国史跡指定を目指すため、これまでの調査を総括します。

2. 調査目的

この調査は令和4年3月策定の『栗東市文化財保存活用地域計画』の最重要措置に位置づけられ、それに基づき取り組むものであり、岡遺跡の国史跡指定を目指すために、遺跡の範囲を明確化し、明らかになった本質的な価値を示す報告書を作成します。このためこれまでに調査された未報告の調査資料を整理して調査成果を総括し、確実に保存をはかる範囲を明らかにします。さらに文献資料調査の成果も踏まえて本質的な価値を明らかにします。

3. 調査体制（目的を達成するための体制）

実施主体 栗東市

岡遺跡調査委員会

委員 学識経験者4名（考古学、建築史、文献・史跡）

オブザーバー 文化庁文化財第二課埋蔵文化財部門

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課

公益財団法人栗東市スポーツ協会文化財調査課

事務局 栗東市教育委員会スポーツ・文化振興課

4. 事業スケジュール

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
調査成果の整理	調査成果の整理（報告書未刊行分）		
総括	図面・文献整理		総括
調査委員会	○ (6～7月)	○ ○ ○	○ ○
報告書作成			作成 印刷

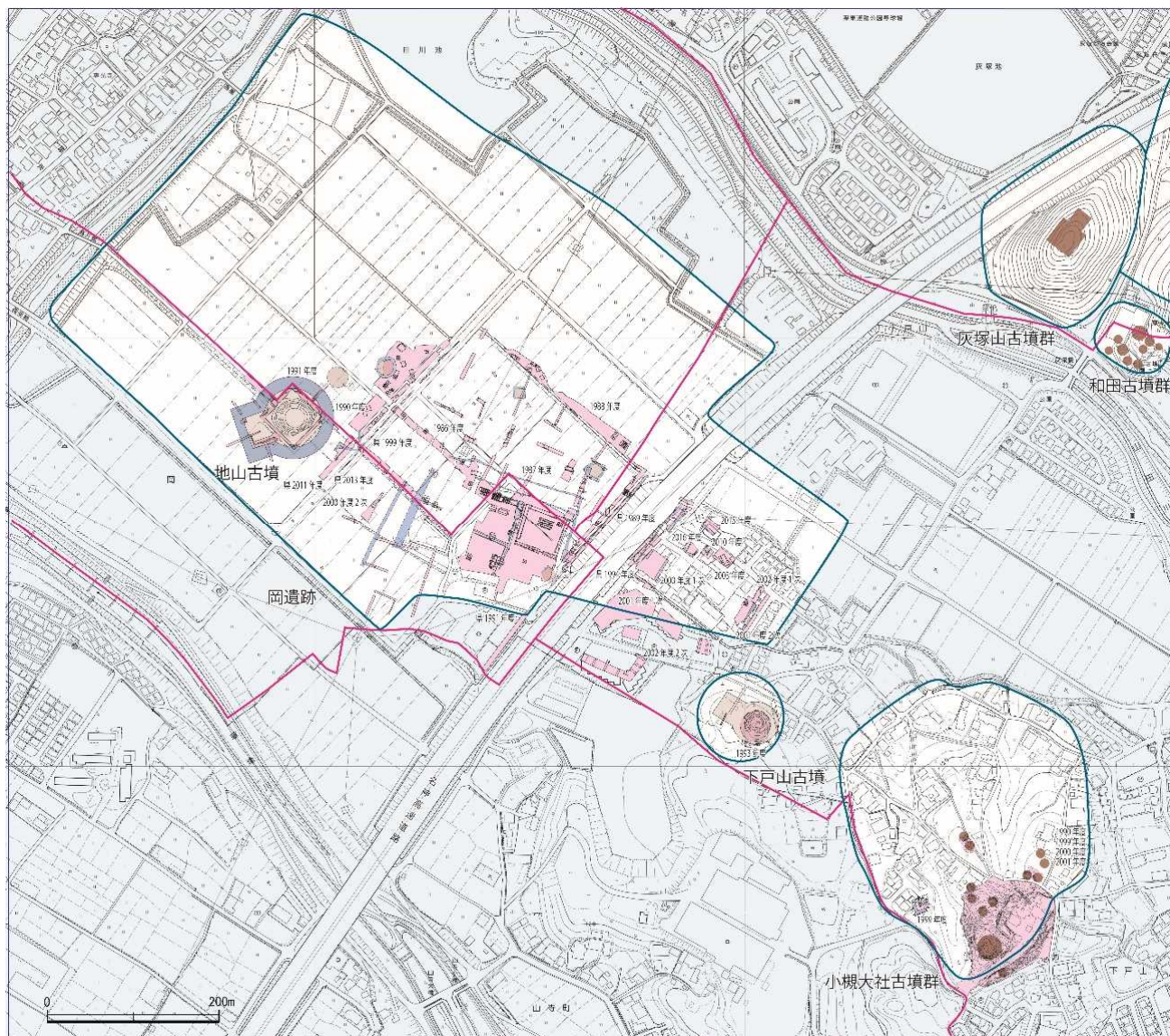
5. 経費

令和6年度 148千円（国補助1/2 市費1/2）

（委員会報酬 44千円、会計年度任用職員（整理員）79千円、旅費20千円、需用費5千円）

参考 令和7年度 360千円（国補助1/2 市費1/2）

令和8年度 934千円（国補助1/2 市費1/2 報告書刊行含む）



青杵…埋蔵文化財包蔵地